

#新型コロナ若者アンケート

ご協力ありがとうございました

日本共産党は、コロナ禍の中で、若い人たちの声を聞き、政治に反映するために「新型コロナ若者アンケート」にとりくんできました。アンケートは返信用封筒で139通、インターネットで105通、合計244通の回答がありました。ご協力ありがとうございます。集約内容は以下のとおりです。

日本共産党

1. コロナでどんな影響がありましたか？

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 仕事やバイトがなくなった／減った (34%) | 学費を払えない／今後の支払いが不安 (8%) |
| 給料がカットされた (11%) | 図書館など学校施設が十分に使えない (24%) |
| ボーナスがない／カットされた (13%) | 医療、保育など実習時のPCR検査が自腹 (3%) |
| 休業補償がうけられない (3%) | 就職が決まらない／決まるか不安 (20%) |
| お金がなくて、食費を削っている (21%) | オンライン授業の課題が多い (19%) |
| 奨学金の返済ができない／今後の返済が不安 (17%) | 友人ができない／サークル活動ができない (13%) |
| 家賃や水光熱費、税金を滞納した (5%) | 孤独を感じる (28%) |
| 借金で生活費を補っている (7%) | 退学や休学をした／検討中 (3%) |

2. 政治にがんばってほしいことは？

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| コロナの感染対策・PCR検査の抜本拡充等 (57%) | 就職活動への支援 (28%) |
| 緊急の現金給付 (54%) | 消費税5%に緊急減税 (41%) |
| 学費を半額に (26%) | 医療や保育、介護など支援 (42%) |
| 休学費をなくす (11%) | ジェンダー平等 (28%) |
| 多くの学生が受けられる給付奨学金 (23%) | 格差をただし、貧困をなくす (28%) |
| 奨学金の返済負担を軽くする (29%) | CO2などを減らす (15%) |
| 正規雇用をふやす (26%) | 税金の使い方の見直し (67%) |
| 家賃補助 (28%) | |

3. 若者×社会／政治 コロナ危機で変わったことは？

- こんなにもすぐに生活危機になってしまったとわかった (40%)
生きていくためには「他人の助け」の大事さを感じるようになった (28%)
困っている人への「公助」を増やすべき (44%)
自分の生活が政治の影響を受けていると感じる (30%)
SNSで政党や政治家などの発信をみるようになった (20%)
いまの「経済システム」は続かないと考えるようになった (30%)
共産党の国会質問や活動を見る機会がふえた (9%)
とくに変わらない (7%)



【記入欄の声よ】

大学の学費が高いと思う。コロナ禍で大学に行けていない。だから、施設費は払わなくていいと思う。

政治家の人は頭が良いから任せておけば大丈夫だと思っていたが、誰も使わなかったマスクの配布に大金をかけ、給付金の配布は1度きり。ちゃんと選挙に行かないといけなかったと感じた。

お問合せは、日本共産党東部北地区委員会へ、電話 0480(22)9296 東部北地区ブログ

新埼玉

2021 年号外 発行／日本共産党埼玉県委員会 日本共産党埼玉県委員会の見解を紹介します。

さいたま市大宮区北袋町 1-171-1 ☎048-658-5551



コロナ危機からあなたを守る提案

「コロナに負けました」と閉店、コロナ解雇は厚労省の発表でも10万人を超えましたが、これは一部分で130万人の非正規労働者が職を失ったという指摘も…日本共産党は、いのちとくらしを守り、経済を立て直すための提案を政府に申し入れています。「苦難軽減の立場」で引き続きがんばります。



検査と医療の抜本的拡充

- PCR検査などに全面的な財政支援
無症状の感染者を含めた積極的検査を
医療機関、介護・福祉施設、保育園、学校、学童クラブなどでの定期的な社会的検査の実施
- 保健所の体制を強化
- 命を守る働き手の処遇改善
医師・看護師の増員で医療従事者の長時間労働是正
介護・障害者福祉・保育などの労働者の賃上げ



雇用と事業の維持 持続可能な支援を

- 「リストラ・雇い止め防止宣言」
政府が雇用危機をおこさないために、あらゆる施策を動員する姿勢を示すための宣言を
- 地域事業継続給付金制度の創設
コロナ収束まで何度でも業種等に応じた給付金を
- 「文化芸術復興基金」の創設
- コメの買い入れ、第一次産業の支援強化
- 消費税の緊急減税・免除



子どもと
学生に

学びを保障 生活支援を

- 少人数学級を早期に実施
- 国の責任で授業料を一律半額免除
- 学生支援緊急給付金
要件緩和・規模拡大などで支援強化



希望ある新しい政治へ

菅自公政権を倒して、どういう日本をつくるのか —— 日本共産党は総選挙に向けて「5つの提案」を訴えています。市民と野党の共闘で政権交代を実現させます。

日本共産党「5つの提案」

①新自由主義から転換し、
格差ただし、暮らし・家計
応援第一の政治をつくる

②憲法を守り、立憲主義・
民主主義・平和主義を回復する

③覇権主義への従属・屈従外交から
抜け出し、自主・自立の平和外交に転換する



④地球規模の環境破壊を
止め、自然と共生する経
済社会をつくる

⑤ジェンダー平等社会の実現、
多様性を大切にし、個人の尊
厳を尊重する政治を